

ハノイの鉄道問題

現在首都ハノイでは渋滞悪化が懸念され、急ピッチで電車路線の建設が進んでいる。都市鉄道建設計画は、ベトナム運輸省のマスタープランの一部であり、民間の自動車輸送機関の利用削減および都市環境の強化を目的としている。

公共交通機関開発管理ハノイ局（交通運輸省）は、ハノイ市で建設中の都市鉄道(メトロ)2A号線(ドンダー区カットリン～ハドン区間)が今年10月にも運転を開始するとの見通しを明らかにした。鉄道案件管理委員会によると、7月8日の時点ですべての列車と資材の約95%が現場に納入されており、79%が完成しているとのことである。メトロ2A号線の高架鉄道は全長13kmであり、12駅を設置する。計画上では、車両数は13であり、設計速度は80KM/Hである。

このプロジェクトでは、2008年に総額5億5300万米ドルの投資を行い、2016年までに総投資額は3億1500万米ドル増加し、8億6800万米ドルとなっている。そのうち、中国の融資は6億6,900万米ドル、ベトナムの負担分は1億9,800万ドルである。

現在のハノイの交通は非常に不便なので、もし鉄道ができれば、交通の問題が改善すると思われる。(Nguyễn Bích Ngọc 記)



(写真：2A号線内のタイハ駅)

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

主な事業 金融商品取引業

NewS 20180731

本文章はベトナムのドンショップサン社が作成したものです。本文章は投資勧誘を目的としたものではありません。本文章は信頼できる情報源から作成したのですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。